

平成22年度林業研究所の試験研究評価

林業研究所試験研究評価実施要領に基づき、平成22年度に実施した林業研究所試験研究評価委員会の内容は次のとおりでした。

委員

- ・三重大学名誉教授
- ・建築設計士事務所代表取締役
- ・林業経営者
- ・三重大学生物資源学部講師　　の4名

1. 平成22年度第1回試験研究評価委員会

開催日：平成22年10月21日（木）　場所：林業研究所

内容：事前評価及び中間評価

1) 委員長選出

委員会運営内規に基づき、委員の互選により、委員長に三重大学名誉教授が選出されました。

2) 評価対象課題

事前評価及び中間評価課題とも、研究担当者がプレゼンテーションを行い、質疑応答のあと、評価方法内規に基づき20点満点で採点されました。平均点が12点を下回るものについては、林業研究所長が研究課題の不採択、中止及び計画の変更等を検討することになります。評価対象課題と評価結果及び出された意見は以下のとおりです。

(事前評価)

- ① 伐採跡地における森林造成技術に関する研究　　評価平均点 16.00 点

出された意見：シカ策の設置法に工夫の余地がある。

防鹿と捕獲を兼ねるような取組を検討してはどうか。

- ② ヒノキ人工林における表土流出抑止技術の開発　　評価平均点 16.00 点

出された意見：効率的な土砂流亡抑止策の提出を期待する。

間伐材を林内に寝かしておくのではなく、利用することにつながるような結果を期待する。

- ③ 間伐促進のための木質資源収穫コスト予測技術の開発　　評価平均点 13.75 点

出された意見：正確な現状把握がなされることだけでも大きな成果と思う。

パラメーターが多く、正確な生産性予測が予測できるのであろうか。

先にシステムを試作し、事業体にデータを入れてもらうことを検討してはどうか。

調査の際に加速度センサーやGPSを使ってはどうか。

- ④ 間伐促進のための森林作業道開設支援技術の開発　　評価平均点 16.00 点

出された意見：大いに役立つ基礎資料を蓄積して欲しい。

各作業の作業性、生産性をアップさせ、現場で使える研究を期待する。

路網からの土砂流亡もわかると良いと思う。

- ⑤ 高周波を利用した効率的な乾燥材生産技術等の開発 評価平均点 14.75 点

出された意見：初期含水率との関連性も必要か？

有意義な研究と思うが、さらにコストダウンがはかれる方法の研究も期待する。

県内の木材産業にとってメリットとなる研究を望む。

高周波乾燥＋天然乾燥に興味がある。

- ⑥ 尾鷲ヒノキ材の変色防止等に関する技術開発 評価平均点 13.25 点

出された意見：なぜ変色するのか、それをどうして防ぐのかについての基礎的観点からの解析が望まれる。

市販塗料との違いを出すこと。

(中間評価)

- ① ニホンジカの生息密度管理と森林被害防除に関する研究 評価平均点 16.50 点

出された意見：効果的な防護法、頭数確認法の改善が大切。

成果を得るには困難が伴うかもしれないが取組が進むことを期待。

林業事業体に協力してもらいニホンジカの確認数を調べてはどうか。

2. 平成22年度第2回試験研究評価委員会

開催日：平成23年3月23日(水) 場所：林業研究所

内容：事後評価

研究評価委員会における4人の評価委員による評価結果の概要は、以下のとおりです。

評価対象課題

- ① 長伐期化に対応した森林管理・中大径材利用技術の開発

— 長伐期化に対応した森林管理技術の開発—

評価平均点 18.33 点

出された意見：実際のデータでの照合結果もあわせて普及してはどうか。

森林所有者や林業事業体に対してデモを行い普及することで検証を。

- ② 管理不足林分における間伐の効果に関する研究 評価平均点 16.75 点

出された意見：間伐の効果が素人にもわかるようなデータも欲しい。

葉量と成長の関係について研究を進めてもらいたい。

比較対照として無間伐や健全間伐林分のデータも知りたい。

- ③ スギ梁桁材の効率的乾燥技術に関する研究 評価平均点 16.50 点

出された意見：エネルギーコストも含めた検討結果も知りたい。

ブランドと結びつけるような発展性を期待する。

- ④ 長伐期化に対応した森林管理・中大径材利用技術の開発

— 長伐期化に対応した中大径材利用技術の開発—

評価平均点 17.50 点

出された意見：可能な限り、基準や他県産材との比較に力を入れて欲しい。

普及に際しては、スパン表を利用可能な材の乾燥条件をわかりやすく示すべき。

⑤ 尾鷲ヒノキの材質特性の把握と新たな機能性部材の開発 評価平均点 12.50 点

出された意見：物性、加工性などについて他の樹種とヒノキとの相違を検討すべき。

コストの検討も含め、複数の処理の併用を検討し、より優れた部材開発の検討を。